

## 【林間学園三日目…】

### 震災の記憶、心に止めておこう！

林間学園三日目。朝は雲が少し残っていて、朝の集いはついにできませんでした。しかし、宿舎を出発する頃には、雲の切れ間から太陽が顔を出していました。『震災学習』、各クラスごとに語りべの方たちから、三・一一の当時の様子について、改めて学ぶことができました。事前学習にも取り組んでいたみなさんでしたが、百聞は一見にしかず、やはり直接現場に行ってお話を聞くことができたことで、いろいろと考えるところもあつたのではないのでしょうか。「十年一昔」といいますが、時間がたつと忘れられてしまいがちなことはたくさんあります。しかし、大地震については、将来確実にやってくる。その時、自分がどこにいるかも分からない。だからこそ、今の学習が大切なのではないでしょうか。今日の学習を活かして、これからの生活につなげていきましょう。（ちなみに、千葉県でも亡くなられた方が大勢いらっしゃいますし、液化化などで多くのライフラインが止まったことも覚えておきましょう。近くでは、我孫子市や浦安市でも大変な被害が出ています。千葉県も被災した県なのだと、いうことを忘れずに。）



林間学園三日目の最後は、御崎公園で学年みんながそろってお弁当を食べました。芝生がとても広く、海を望むことのできる大きな



公園での食事。心地よい風（もしかしたら肌寒く感じられた人もいる位の海風）も吹いてくれ、温かな日差しを存分に感じることでできました。ここでも頑張った人が複数。食べ終わった容器等の回収に率先して取り組んでくれた仲間がたくさんいたのです。誰かに言われずともすぐ行動できるのはさすがですね。

今回の林間学園を通して、改めて南中生の二年生の「素晴らしさを実感しました。もちろん課題も見つかったのですが、それらは一つクリアしていけばいいのです。メリハリのある生活、**電光石火**のような動きができるのもみなさんの素敵なところですよ。今回の取組が糧となり、みなさん自身の手で、更なる新しい伝統を築き上げてください。先生たちも全力で応援します。三日間本当にお疲れ様でした。実行委員のみなさんや各係で頑張ってくれた人たちのおかげで今日の成功があります。**頑張ってくれた全ての人たちに感謝したいと思えます。ありがとうございました！**